

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第6号—

令和3年5月10日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

ノーチャイムで自制心・自立心の育成

新年度がスタートして一ヶ月が過ぎました。それぞれの教室からは、元気のよいあいさつや歌声が聞かれ、新たな環境の中で生き生きと学校生活を送っている様子が伝わってきます。季節はまさに春爛漫！長い冬を耐えた木々たちは、「待ってました」とばかりに一斉に花を咲かせ始めました。

高浜虚子の句に「春風や 闘志いだきて 丘にたつ」という句がありますが、多かれ少なかれ、この季節は「新たな決意」を意識させてくれます。津吉小学校の子供たちにとっても、それぞれの胸に新たな決意をともし、希望と勇気をもって歩き出す、そんな春であってほしいと願っています。

さて、子供たちは休み時間を待ちかねたように運動場に飛び出し、さわやかな風と光をいっぱい浴びながら、夢中になって遊んでいます。そして、昼休みの終わりの放送が鳴ると、外で遊んでいた子供たちは一斉に遊びを切り上げ、児童玄関に向かって全力で駆け戻って来ます。もっと遊んでいたいけど授業に遅れてはいけないと思って懸命に走って戻る姿は、とてもすばらしいです。時間を守って行動するということは、約束を守ろうとする心があるということです。また、行動の切り替えが素早くできる子供は、何事においても上達が早いものです。津吉小学校では、「ノーチャイム」の伝統があります。子供たちは、授業の開始や学校生活の様々な活動を、時計を見て行動します。ノーチャイムの取組は、子供たちの自制心を育み、自律心を育てる取組です。津吉小学校の子供たちがごく当たり前に行っているこうした姿を、これからもずっと大切にしていきたいと思っています。



運動場の朝礼台

運動場の朝礼台は、26年前の平成7年、津吉小学校のPTA会長をされていた小値賀渡様から寄贈されたものです。当時、本校にお勤めになられていて、今年度、津吉小学校に再赴任された松永靖先生から、その寄贈の経緯をお聞きました。

長年、津吉小の子供たちを見守ってくれた朝礼台を寄贈していただき、感謝の念を抱くとともに津吉小の子供たちの健やかな成長を願う地域の皆様の期待をひしひしと感じました。津吉小を卒業した保護者の皆様もきっとこの朝礼台を目にし、運動会などの時には、朝礼台を利用したことだと思えます。寄贈された小値賀様には、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



1年生と6年生と一緒に歓迎遠足のお弁当